

現在立教大学では、自治会再建のクラス決議を上げ、クラス代表を選出する闘いと具体的な自治会再建に向けた運動が進められ、その闘いの中で、学生生活擁護、反独占改革闘争が最も前進している。

アウト粉砕へ

学費闘争

文系で三万円(上げ幅八百)という大幅なものであり、学生生活に多大な負担を及ぼすものである。直上発表に先立って、理事会は学長・総長を兼任させ、管理運営の集中化・独裁化を推し進めてきた。又、大量の「赤子」宣伝を行い、「経営の危機」の責任を政府の「国立大偏重」文政政策に押しつけ、国庫補助要求を打ち出し、学費値上げの「全学的意志統一」をかちとろうと策動してきた。

しかし、この様な理事会の直上げ策動に対し、学友の怒りは熾燃した。十日の対学生部長団交に二千、十六日の対法政学教団交に...

中大で八千決起

中央大学では現在、学生・勤労者からの擧取と取組、学生生活改善、権利の回復に対する闘いが、学費値上げ阻止へ向けた全学的闘争として展開されている。その闘

学生市民六百参加

大阪中馬公会堂において開催された11・4部落解放のための講演と映画の会には30大学六〇〇名の学生と市民の参加によって大衆的勝利を収めた。

10数大学参加(予)

12月10・17・24日の3日間、大阪市立大学において関西学生部会による学生運動の役割を示した。全国学園闘争の東北の

大学祭闘争に大きな貢献

手先として、解放研究会が奮闘をかけたことには驚かされた。阪大解放研究、茨川学連はそれをキッカケに拒否し、大衆実行委を

日朝学生の文化交流拡大を

大阪各大学の文化系サークルを中心に多数の学友が参加した。映画においては、現在南北朝を同胞愛へと成長させてゆく多くの持たれることを期す。

文化系サークルを

大阪各大学の文化系サークルを中心に多数の学友が参加した。映画においては、現在南北朝を同胞愛へと成長させてゆく多くの持たれることを期す。

「学生連合会」50周年

記念集会開かる

11月8日、東京世田谷区で、水本社、学生連合会が結成された22年当時の運動を懐想し、特に、それらの伝統を継承し、正し発展させる必要のあることを強調された。



創立当時を語る志賀義雄氏

この組織は、日本共産党の二本足の「渡辺正之輔」による労働組合運動と学生連合会の一

関大で差別事件

関大では、社会学部で「エッタは黙れ」落書き、工学部助教の差別発言など、相次いで差別事件が発生し、糾弾闘争が解放闘争中心に全学的に展開されている。

当局大学祭破壊

東大に於ける学生連帯が大学祭破壊とされた。この闘いの中心に結集した学友は、講堂使用不許可等の困難な条件にも快ま

総長自己批判

実験室からの無神経な毒物のたれ流しに対して、京大災害研・毒物たれ流しを糾弾する等が要求されていた総長説明会が、11月22日

知識と労働

特集 日本マルクス主義の五〇年... 日本共産党の五十年を讀んで... 階級闘争の発展と日本共産党... 石堂清倫 回顧あれこれ... 要原 佑 運動雑感... 山本晴義 日本マルクス主義における民族主義... 大木 透 新日和見主義と日共指導部の新たな動向... 田中はじめ 自主独立路線の哲学のゆくえ... 徳田球一 資料「日共闘争史草わたり」に対する意見... 渡辺悦司 日本共産党の発展についての「おぼえがき」... 光緒 南北共同声明と朝鮮半島の緊張緩和... 石本 功 曲り角に立つ台湾、「国共合作」の胎動長谷川慶太郎 高まる米軍内の反戦活動... 加藤春雄 原子力発電推進論の問題点... 木津 実 分裂下における全金神鋼機器の闘い... 河堀正雄 造船労働運動の新局面... 海原 峻 学生運動の現状と問題点... 石垣綾子「オリブの墓標」... 永野 仁 評「石垣綾子」さらばわがアメリカ... 大坂唯物論研究会編・新泉社発売

知識と労働

特集 列島改造論批判と革新路線... 「日本列島改造論」と革新路線 シンポジウム 小野義彦/田中内閣論... 川島哲郎「改造論」の産業再配置計画 中西健一「交通ネット・ワーク」構想の特徴と問題点 磯村隆文/財政・金融上の裏付けと物価問題 小川喜一「改造論」と労働問題 吉村 勲「改造論」と労働問題 列島改造論といかに対決するか... 鈴木啓一 地域経済計画と統一革新労働計画 日本マルクス主義の五〇年... 志賀義雄 批判者の批判... 波多 然 ●社会運動・回想と証言 小林陽之助について... 川合貞吉 ゴルゲとその同志たち... 方 金 鶴 ●カレント 長期政権体制確立と修正政権... 6・メイヤー 労働者階級と大衆運動... 石本 功 ●プロ独裁の概念について... 井本 実 サビーレ労働論... 山本晴義 最近の初期マルクス研究... 新泉社発売

千島問題

平和運動家必携の本 アジア集団安全保障への道 志賀 義雄編 AS版 四三三頁 定価九〇〇円(送料含む) 日本のごえ出版局 東京都新宿区荒木町五十一一六〇 電話(三三三)八六六四一五 振替・東京四〇一九四

年末カンパのお願い

読者、支持者のみなさん。インドネシア反帝民族解放闘争は、九項目和平協定調印を勝ちとるべく、最後の大勝利の局面に入りました。平和共存の世界的潮流は、ますます巨大な流れとなっています。だが、田中政府は、軍事・政治大国への野望を二層強め、大学に対する攻撃も一段と厳しいものとなっています。我が同盟は、ベトナム和平協定期間調印・四次防中止・及び引き続く学費値上げ阻止の闘いを全国学生の大規模に立ち上げていく一層決意を固め、同盟全国化の旗かき事業の遂行のため、年末一時金カンパに御協力下さることを心からお願ひ致します。 七二年十二月 同盟中央編集局